

令和3年度に行った主な事業（金額は令和3年度決算額）

本村では、5つの基本目標に沿った事業を実施しています。

● 教育・文化（歴史と文化が薫り英知を育む村）

- 学校ICT環境整備事業 ————— 9,812万円
- 学校給食業務（緊急的子育て支援含む） ————— 5,150万円
- 山田城跡公有化事業 ————— 3,085万円

● 保健・医療・福祉（皆が安心して暮らせる健康の村）

- 障害者自立支援給付事業 ————— 3億5,311万円
- 子育て世帯に対する支援（児童手当） ————— 2億30万円
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業 ————— 1億943万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 ————— 9,028万円

● 産業・経済（人々が集い活力ある豊かな村）

- 災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業 ————— 4,448万円
- 恩納漁港整備工事 ————— 3,124万円
- 新型コロナウイルス感染症対策関連の事業者支援事業 — 1億2,414万円

● 生活環境（美しい自然と共生する潤いのある村）

- 村道勢高2号線整備事業 ————— 1億1,811万円
- 安富祖ダム整備事業 ————— 1億6,673万円
- 農業集落排水事業（恩納第2地区） ————— 7億3,174万円

● 自治体運営（村民が参加し協働して築く村）

- あしびなー施設新設事業 ————— 2億985万円
- 恩納村ふるさとづくり応援寄付金活用事業 ————— 1億3,963万円

※令和3年度は全国から7億9,953万円の寄付金がありました。



山田城跡公有化事業



学校給食業務



災害に強い高機能型栽培施設



あしびなー施設新設事業



村道勢高2号線整備事業



安富祖ダム整備事業



恩納漁港整備事業



基金運用状況（令和3年4月～令和4年5月）

区分	決算年度末残高	前年度比
一般会計	財政調整基金	11億921万円 70.7%
	減債基金	4億8,408万円 100.0%
	その他特定目的基金	39億6,737万円 168.6%
国保	国民健康保険基金	0円 —
	高額療養費付基金	300万円 100.0%
下水道	水洗便所改造資金貸付基金	60万円 100.0%
	農業集落排水施設管理基金	1,903万円 117.9%

村債の状況

区分	前年度末残高	本年度末残高	前年度比
一般会計	52億8,364万円	50億7,845万円	96.1%
下水道事業	8億3,323万円	8億9,354万円	107.2%
水道事業	6億2,533万円	7億1,545万円	114.4%

健全化判断比率と資金不足比率

指標名	本村の比率	早期健全化基準(黄信号)	内容	
健全化判断比率	実質赤字比率	赤字なし	15%	一般会計等の赤字の割合
	連結実質赤字比率	赤字なし	20%	全会計の赤字の割合
	実質公債費比率	4.8%	25%	年間の借入金返済額の割合
	将来負担比率	赤字なし	350%	将来に負担が見込まれる負債の割合
資金不足比率	資金不足なし	20%	公営企業の資金不足額の事業規模に対する割合	

村民1人当たりの税負担額と使われ方

● 1人当たり村税負担額

20万4,004円

● 年間に使われたお金

1人当たり=100万4,037円

● 保育園児に使われるお金

1人当たり=43万3,701円

● ごみ処理に使われるお金

1人当たり=24万7,672円

(※浸水処理施設整備費も含まれます)

● 小学生に使われるお金

1人当たり=32万3,493円

● 1人当たり医療費

25万4,484円

● 中学生に使われるお金

1人当たり=11万4,033円



※人口は11,050人（R4.1.1現在）、小学生は641人、中学生は341人（R4.5.1現在）、保育園児は227人（R4.4.1現在）で算出しています。

※1人当たり医療費は、国保加入者で算出しています。

令和4年度上半期（4月～9月末）の財政状況

区分	予算額	収入済額	支出済額
一般会計	89億9,137万円	56億3,183万円	40億8,907万円
国民健康保険	15億8,238万円	6億4,498万円	7億1,262万円
後期高齢者医療	1億1,751万円	4,778万円	4,045万円
下水道事業	10億8,776万円	1億153万円	5億3,682万円
水道事業（収益的）	7億323万円	2億9,434万円	2億1,535万円
水道事業（資本的）	5億4,249万円	8,100万円	2億8,443万円